

令和2年4月17日に、当校の訓練機（シーラス式SR22型、JA017C、計4名搭乗）が帯広空港に着陸後、前脚の不具合により滑走路に墜座するという事象が発生した件について、本日（9月28日）運輸安全委員会より重大インシデント調査報告書が公表されました。

当該調査報告書に再発防止策として記載された、製造上の不具合の可能性のある前脚オレオの交換については、当校では令和2年12月の技術通報に基づき、全機の定時整備作業を既に完了し、訓練を継続しております。

今後ともより一層の安全運航に努めてまいりますのでご理解、ご協力のほどよろしくお願いたします